

## 建築技術性能認証委員会資料提出について

2024年3月25日  
一般財団法人 日本建築総合試験所  
性能評定課

委員会に提出いただく資料につきましては、以下の通りです。  
ご質問、ご不明な点等ございましたら、ご遠慮なくお問合せください。

	電子データ	
	必要データ	提出期限 <sup>※4</sup>
受付 委員会 (新規・改定)	①委員会での発表用資料 <sup>※3</sup> (PPT・PDF ともに) ②性能証明のための説明資料 <sup>※1</sup> (PDF) ③設計・施工指針など (PDF) <sup>※1</sup> ④添付資料・参考資料など (PDF) <sup>※1</sup>	委員会 <b>前週木曜日 16時</b>
報告 委員会 <sup>※2</sup> (新規・改定)	①委員会での発表用資料 (PPT・PDF ともに) ②性能証明のための説明資料 (PDF) <sup>※1</sup> ③設計・施工指針など (PDF) <sup>※1</sup> ④添付資料・参考資料など (PDF) <sup>※1</sup> ⑤議事録 (PDF) <sup>※1</sup>	委員会 <b>前週金曜日 16時</b>
軽微な 改定	報告委員会のうち②～⑤までのデータ	

※1 資料には各章、各節に「しおり」を作成してください。(別紙参照)

※2 報告委員会の資料は日総試担当者の確認が終了しているものをご提出ください。

※3 記載要領は別紙をご参照ください。

※4 提出期限が祝日となる場合は1営業日前といたします。

\*評価シートは報告委員会後の決裁資料事前チェックと一緒にフォーマットをお渡し致しますので、必要箇所を記載の上、クラウドシステムの決裁資料事前チェック申込者回答の欄からご提出下さい。

資料提出先・問合せ先

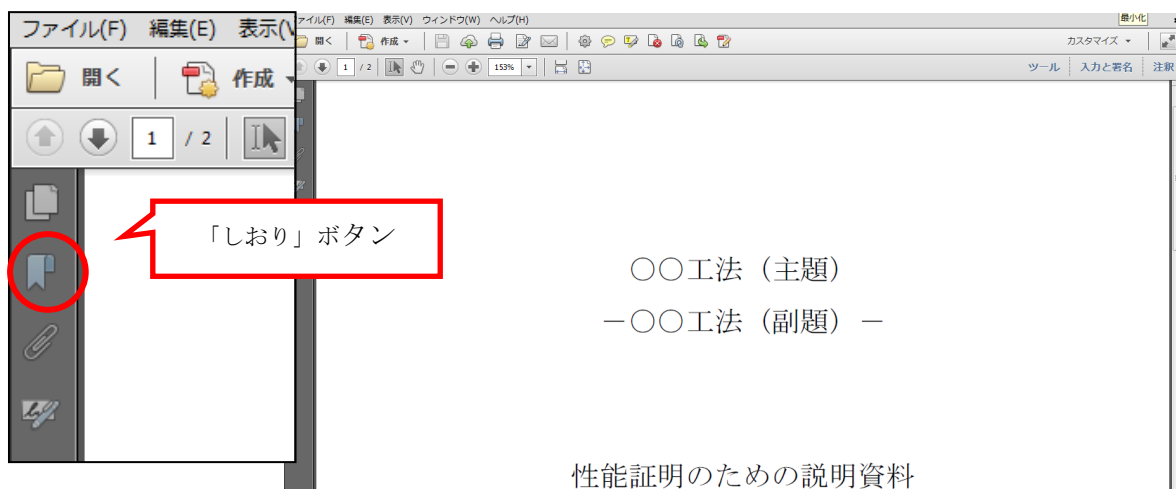
性能評定課 TEL : 06-6966-7600

甲谷 : [koutani@gbrc.or.jp](mailto:koutani@gbrc.or.jp)

尻無濱 : [shirinashihama@gbrc.or.jp](mailto:shirinashihama@gbrc.or.jp)

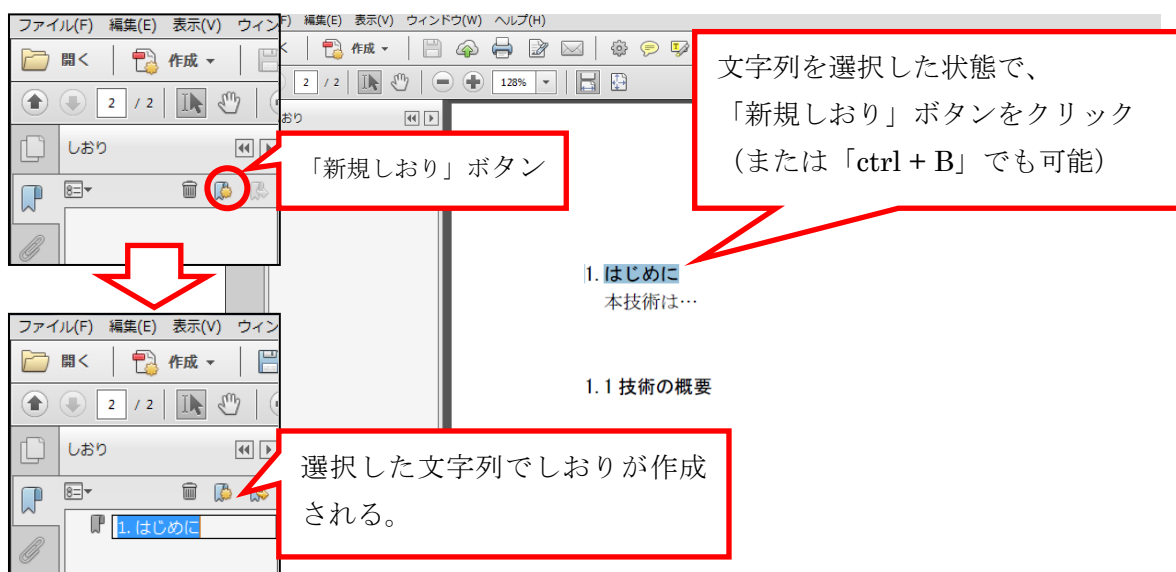
## PDF 文書のしおり機能作成について

①「しおり」をクリックする。

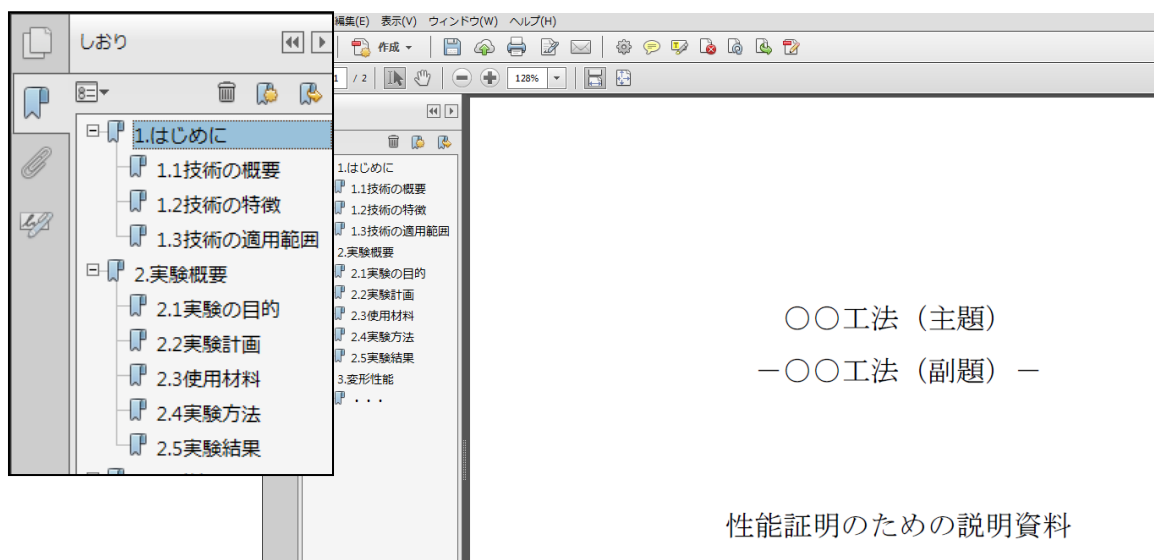


②表示させたいページを開き、タイトルを選択。

「新規しおり」をクリック。



③②を繰り返して、しおりを作成する。



## 委員会での発表用資料 記載要領（新規申込時）

○申込技術に対する発表用資料については、パワーポイントを用いて作成してください。  
必要に応じて順番、体裁を変更しても構いませんが、概ね 25 ページ以内で作成してください。なお、委員会での発表時間は約 20 分です。

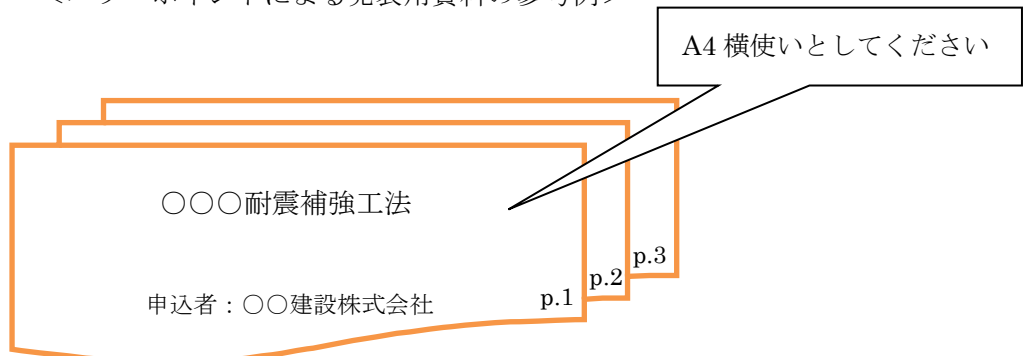
○以下の項目を必ず記載してください。

- ・ 件名  
副題があれば副題についても記載
- ・ 申込者  
複数社が関係する場合、共同申請や工法協会での申請などが分かるように記載
- ・ 申込技術の概要  
技術の特徴（概要図）、新規性・独自性を有する部分、目標性能などについて記載
- ・ 実験内容（実験を行った場合）  
実験概要、実験結果を記載
- ・ 実験結果等に基づく技術の妥当性  
適用範囲の設定（実験を超える範囲まで拡張する場合の方策等を含む）とその妥当性  
提案する評価式の持つ安全率（余裕率）とその妥当性  
当該技術を適用したときに生じる周辺部材や建物全体への影響の把握と対処法
- ・ 申込技術の運用体制  
設計者、施工管理者、申込者以外が行う場合の実施体制などについて記載

○発表用資料の体裁は以下の通り作成してください。

- ・ A4 版の原稿方向は横使いとし、通しページを付してください。
- ・ 提出はパワーポイントデータ、ならびに PDF に出力したデータの両方としてください。
- ・ PDF は、1 スライド 1 ページで出力してください。

<パワーポイントによる発表用資料の参考例>



## 委員会での発表用資料 記載要領（改定申込時）

○申込技術に対する発表用資料については、パワーポイントを用いて作成してください。  
必要に応じて順番、体裁を変更しても構いませんが、概ね 20 ページ以内で作成してください。なお、委員会での発表時間は約 15 分です。

○以下の項目を必ず記載してください。

- ・ 件名  
副題があれば副題についても記載
- ・ 申込者  
複数社が関係する場合、共同申請や工法協会での申請などが分かるように記載
- ・ 申込技術の概要  
技術の特徴、新規性・独自性を有する部分、目標性能など簡潔に記載
- ・ 改定の概要  
適用範囲（既証明・改定時の各範囲明示）、評価式など改定の内容を具体的に記載
- ・ 実験内容（実験を行った場合）  
実験概要、実験結果を記載、既証明時・改定時の違いを記載
- ・ 実験結果等に基づく技術の妥当性  
改定の妥当性を実験結果等にもとづいて記載  
適用範囲の設定（実験を超える範囲まで拡張する場合の方策等を含む）とその妥当性  
提案する評価式の持つ安全率（余裕率）とその妥当性  
当該技術を適用したときに生じる周辺部材や建物全体への影響の把握と対処法
- ・ 申込技術の運用体制  
改定に関連する場合は記載

○発表用資料の体裁は以下の通り作成してください。

- ・ A4 版の原稿方向は横使いとし、通しページを付してください。
- ・ 提出はパワーポイントデータ、ならびに PDF に出力したデータの両方としてください。
- ・ PDF は、1 スライド 1 ページで出力してください。

<パワーポイントによる発表用資料の参考例>

